

破壊力学評価法

破壊力学評価法 はかいりきがくひょうかほう

破壊力学に基づく材料の健全性評価手法。破壊力学は、き裂を有する構造物におけるき裂の成長、それに伴う破壊現象等をマクロ的に解析、評価する方法論として近年急速に進展した分野である。この背景には構造物の大型化により脆性破壊等に基づく損傷事例の増加の歴史がある。現在では、原子力発電所を含め、各種の大型構造物の健全性確保のために、構造材の疲労き裂、応力腐食割れにおけるき裂成長、延性破壊、脆性破壊等が破壊力学に基づいて評価されている。

<登録年月>

2010年12月
